

2. 診断群分類別患者数等(診療科別患者上位5位まで)

症例数の多いDPC14桁分類(DPCコード)を、各診療科別に集計しました。
項目はDPC14桁分類に対する症例数、平均在院日数(自院・全国)、転院率、平均年齢で、
各診療科別に上位5つを掲載しております。

定義

最終的な自院の退院をもって1カウントとする。
転院は、最終的な退院先が「他の病院・診療所への転院」の患者とする。

◆指標に示されるそれぞれの用語は以下の通りです。

DPC14桁分類(DPCコード)

診断群分類を表すコードです。医師によって決定される主病名と、一連の入院期間中に行われた医療行為の組み合わせによって分類されますので、同じ主病名でも医療行為が違えばDPCコードも異なります。

14桁の数字は全てに意味をもち、全国共通のコードとして使用されております。

名称

主病名についてどのような医療行為を行ったかを表します。

平均在院日数(自院)

入院中の在院日数を症例毎に集計し、その値を症例数で割った平均値です。

※以降の指標でも同様です。

平均在院日数(全国)

厚生労働省より公表されている、全国DPC対象病院の平成28年度における在院日数の平均値です。

※以降の指標でも同様です。

転院率

該当する症例数のうち、当院から他病院に移動して入院継続(転院)することとなった患者さんの割合です。

※以降の指標でも同様です。

患者用パス

入院時に患者さんにお渡しするクリニカルパスの略です。

クリニカルパスとは、治療や看護の手順を標準化し、診療の効率化を図る入院診療計画で、検査・治療・手術・ケアなどの内容を時間軸に沿ってスケジュール表(パス表)にまとめたものです。